

## 第80回「村長とのふれあいトーク」当日のやりとりコメント

### 【1】-1 安心・安全な村政に（村のエネルギー供給について）

村のエネルギー供給（原子力発電）は安心・安全ではない。持続可能なエネルギー供給を考慮すると、火力発電は一時的で、かつ温暖化を進めてしまう。これが最良とは限らないが、村として太陽光発電を進めてほしい。

#### ⇒【村長コメント】

太陽光発電について、村では各家庭の屋根にソーラーパネルを設置する際には補助金があるので是非活用してほしい。

### 【1】-2 土地の境界について

家の外周に塀を立てようとしたが、現地測量をした結果、土地の境界杭の位置に納得できない。書類が改ざんされていると思われる。役場職員からは書類が無いなどと言われ、その不誠実な対応を信用することができない。

また、道路境界確認や地積測量の申請書について、勝手に申請書を提出された形跡がある。申請書を偽装した職員等に罰則を与えてほしい。

#### ⇒【村長コメント】

職員の不適切な職務が認められれば、懲戒制度に基づき処分することになるが、事実確認が必要である。手続きについて、不服があれば、申し立て等していただきたい。

### 【2】-1 幼稚園再編について

幼稚園再編に関する意見交換会に村長自ら出席され、住民の質問に丁寧に対応していただき非常にうれしく思っている。

出生数が下がっていることや村の財政的な事情を考えると幼稚園再編も致し方ないと思える。以前、最低でも中学校区に1つ幼稚園は残してほしいとお願いしたが、ニーズに応じて保育園枠を減らして幼稚園枠にするなど考えてほしい。過去に幼稚園入園が抽選になっていたこともあり、今後幼稚園を再編し、入園の受け皿が少なくなり、再度抽選となるのは避けてほしい。

#### ⇒【村長コメント】

役場としても再編を決めた当初から、行政的な視点を含め細かい事情をきちんと説明すべきだった保護者の皆様の混乱を招いてしまいその点については反省している。

入園が再び抽選となるのは村としても当然避けなければならないと考えている。母子手帳の交付と合わせて、幼稚園か保育園の希望をとるなど、長期的な統計を取り、一般論ではなく村民のニーズに合わせていけるようにしたい。

### 【2】-2 公共施設の統合について

今後10年程度で村の財政も大きく変動していくことが幼稚園再編の意見交換会で取り上げられたが、幼稚園だけでなく小学校区ごとのコミセン設置など村公共施設をすべて維持していくことは可能なのか？

子供たちの活動は交流館を中心に行うなど、村民が活動する場所を集約し統合していく必要があると感じた。統合する場合は行政だけで判断や決定を行うのではなく、自分ごと化会議の手法を用いて現状を踏まえ住民自身が対話できるようにするのがよいと思う。

#### ⇒【村長コメント】

今後公共施設の統廃合は必要だと考えている。役場で一方的に進めるのではなく、自分ごと化の手法を用いるのはとても良いと思うので検討したい。

### 【3】ボランティア活動について

東海村出身の同級生とボランティア活動を行いたいと考えている。

内容は地域おこし協力隊の方との村おこしを目的としたボランティアを考えているが、一緒に活動することは可能か。

また、ゴミ拾い活動も考えているが、村から何かしら協力を頂くことは可能か。

#### ⇒【村長コメント】

ボランティア活動にご協力いただけるのは大変ありがたい。地域おこし協力隊とどういった活動ができるかは、やり取りしてほしい。

ゴミ拾いについてはすでに活動を行っている団体がいくつかあり、ボランティア団体として登録してもらえれば、ゴミ拾いの際のゴミ袋の支給やゴミの集積は協力できると思う。

また、若い世代の方々には、お年寄りにスマホの使い方を教え、手続きをスマホでできるようサポートするなど、若い世代が得意な部分で困っている人たちを助ける活動をしてほしいと考えているので、ぜひ検討してほしい。